

8月22日

第14回村レク大会

会場は山古志中



8月1日～7日
水の日・水の週間

お知らせ

村あげての運動会・村総合レク
リエーション大会も、今年で第十
四回を迎えました。
子どもからお年寄りまで、ふる
ってご参加ください。

▽日時—8月22日(日)
9時30分開会
午後4時終了
▽会場—山古志中グラウンド
(雨天のときは体育館)

- ▽プログラム
- ①開会式・準備体操(全員)
 - ②一〇〇m競争(20歳以上男)
 - ③風船わりレース(婦人)
 - ④紅白玉入れ(団体)
 - ⑤一人三脚障害物リレー(団体)
 - ⑥幼児レース(幼児オープン)
 - ⑦綱引き(団体)
- 午後—
- ⑧ママさんバレーボール(婦人)
 - ⑨采女レース(采女オープン)
 - ⑩大玉おくり(団体)
 - ⑪年齢別リレー(団体)
 - ⑫盆おどり(全員)
 - ⑬閉会式
- (雨天の場合、種目に一部変更があります。)

胃部検診

期 日	会 場	時 間
8月9日(月)	種芋原センター	8:30~10:00
11日(水)	虫亀飼育所	〃
12日(木)	役 場	〃
13日(金)	竹沢小学校	〃

※料金—1,000円(当日徴収)

子宮ガン検診

期 日	会 場	時 間
8月30日(月)	種芋原小学校	9:30~15:00
9月2日(木)	虫亀飼育所	9:30~11:00
〃	池谷小学校	11:30~12:00
9日(木)	竹沢小学校	9:30~11:00
〃	東竹沢小学校	11:30~12:00

※料金—1,000円(当日徴収)

※池谷小学校、東竹沢小学校については、申込者が少ない場合は検診車は行きません。他の会場で受けていただくことになります。

献血にご協力ください

8月8日(日)
午前10時~
午後3時
会場—種芋原小学校



人権相談

人権相談所を開きます。身の回りの問題で困っていることがありましたら、気軽に相談ください。相談内容は秘密を守ります。

▽日時—8月10日(火)
午前10時~午後3時

▽会場—役場2階

※人権擁護委員は次の方です。

風間伴治郎(種芋原 ☎3753
関 和男(梶 金 ☎2555)

国民年金

8月分の福祉年金を受けたら

「緑の証書」をお返しください

福祉年金を受けているみなさんは、8月期の年金を受け取ったらすぐに、国民年金証書(緑色)を役場へお返しください。これは、8月

ロックコンサート



サベージ・エンジェルス
8月8日(日)
午後7時30分
山古志中学校
入場無料

分らむこう一年間の年金支給額を決定し、国民年金証書に年二回の支給金額を記入するためのものです。

この証書の提出が遅れますと、次の年金支払月の十一月がきても年金の受け取りができないことがありますので、ご注意ください。

戦没者、原爆死没者の慰霊と平和祈念の黙とう

第二次大戦から二十七年たちました。原爆投下や戦地などで多くの方が亡くなりましたが、その方々のめい福と恒久平和を祈って、次の日時に黙とうを行います。

- ▽広島原爆投下 8月6日(金) 午前8時15分
- ▽長崎原爆投下 8月9日(月) 午前11時02分
- ▽終戦日 8月15日(日) 正午



ラジオ体操

→参加するとカードに記入

七月二十五日から、待ちに待った夏休み。朝八時半になると、神社の境内などで元気にラジオ体操が始まっています。

ところで、お盆などをひかえて子どもたちの気もゆるみがちですが、**「早寝早起き」**など規則正しい生活は続いています。この一つのバロメーターになるのがラジオ体操です。がんばってラジオ体操の参加カードをいっぱいこめてください。

(七月二十八日、中野十二山) 神社境内で

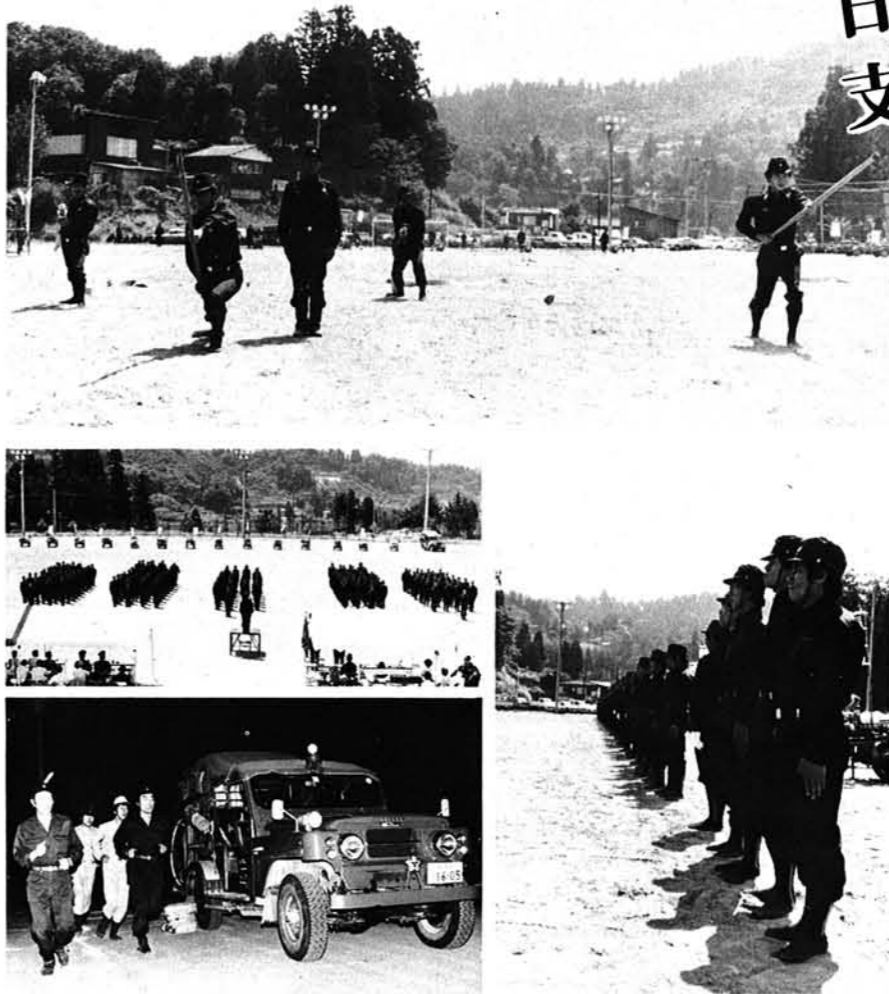


日夜、村の安全を支えていてくれる 消防団

7月11日、村の消防演習が炎天下の山古志中学校で行われました。

218名の団員が今年そろえられた紺の作業服で集まり、機械器具点検、ポンプ操法、小隊訓練、放水訓練、分列行進を行い、終始きびきびとした演習でした。

消防団員の方々は、この演習や日ごろの厳しい訓練、定期的な機械器具点検などを通し、日夜、私たちの生活の安全を支えています。そこで、村の消防活動について、消防団長をはじめ7人の方々に話を聞きました。



訓練の厳しさに びっくり

新入団員



坂牧 金治さん (種芋原)

今年の春に、新潟から小出に転勤になって、家から通っていたんです。そしたら消防団に入ってくれと言われて、順番みたいなものだからと入団しました。

いつも火には注意 していたのに……

二月に火を余して、大勢の人に迷惑をかけてしまいました。

寝ようとテレビを消すと、カリッカリと作業所の方で音がするんですね。お父さんと二人で行くと、鯉の越冬の石油コンロの火が天井までなめていて、二人じゃもうどうしようもなくて……。

私はすぐ近所に電話をかけ、次いで消防団へ。自分じゃ落ち着いていたつもりでも、あわてていたんですね。間違えて一〇番してしまっただけです。

近所の方が消火器で火をくい止

星野 典さん (二丁野)



有効だったと思えました。いつも火には注意し、寝る前には必ず点検したのにその日に限って……。火が消えた後も落ち着かず、しばらく作業所の方へ行くのがいやだったですね。

▽小隊訓練……今年は第5分団(東竹沢)が実施。消防団の結束の強さの見せどころである。それだけにきつい訓練が続く。1人でも欠けると列が乱れるため休めず、仕事場から直接訓練に出る人も——。演習当日は、一糸乱れぬ行進だった。(写真は6月30日の訓練)



消防署で一人ずつ特訓

自動車班



関 正儀さん (油夫)

訓練は六月に入ってから雨の日以外は毎晩。誰も好きでやっけるわけじゃないが、一人欠けると練習にならないし、入った以上は真剣でやらないと。

六月下旬に、自動車班で与板消



↑放水訓練……放水した水しぶきでかえってむし暑く感じるほど、猛暑の中の消防演習だった。

消防団の世話にな っちゃいけないって



関 涼子さん (梶金)

今年五月二十二日に結婚したばかり。(ご主人は信一さん)野球や音楽やって、夜に寝ないこともよくあったんですけど、六月半ばからはほとんど毎晩消防でしょう。夕方帰ってごはんを食べてすぐ出て行って、少しはさみしかったけど、大変だなぁって思いました。実家の方でも消防団はあったけど、火を消すのは消防署の仕事っていう感じ。こっちは自分たち

県大会に出場



斎藤 利行さん (池谷)

五十四年八月、三吉郡の代表で新発田で行われた県の消防大会に出場しました。

そのとき一番不安だったのが、兵隊の経験がないこと。不動の姿勢やきびきびした動作がはたしてできるんだろうかと思いました。それと、でかい声を出せと、厳しい訓練が続きまして。

でも、終わってからは県大会に出たよかったです。この厳しさや規律は消防団よりほかでは経験できないし、一度身についたものは忘れません。ところで、入団してもう二十二年。そろそろ若い人に引き継いでもらいたいんですが、後継者が少なくて困っているんです。

消防33年団 休まる時がない 消防団員は気の



畔上 喜一さん (木竜)

消防団に三十二年勤め、この春退団しました。入団したころは一軒一人ということで、学校を終るとすぐ消防団に。以来三十年余り、みんなの協力で何とか勤められたんです。

消防団をやめて、気が楽になったと思います。消防団員の時きは、カンカンという音やごみ燃や

しの煙などにもハツとして、とにかく気の休まる時がない。それに奥さん方も大変なんです。訓練に出れば服は汗まみれだし、火事の際はご主人に連絡をとらなければいけないし。ウチなんかも、あ

んまり服を汚すというので、よくおこられたもんです。消防団をやめてしまおうとあは知らん顔の人も多いようですが、やはり消防の精神はいつまでも持ち続けていきたいと思えますね。



消防団活動はまづ 家庭内の協力から

青木秀敏消防団長

山古志の消防団員は非常によくやっています。三吾郡に行っても、郡代表で県大会に出ても、

訓練や服装態度その他、よそにひけをとることは一つありません。



消防団の規律は厳しいですが、いざというとき団体行動で指示命令が徹底されないといけないからなんです。若い人達もよく理解しており、消防でなければこの規律の正しさを身に付けることができないとさえ思ってくれているようです。

ところで、消防団活動は、まづ家庭内の協力が非常に大切なんです。うちの子は、うちの父ちゃんには消防団員なんだと、自覚や誇りを持ってください。それが厳しい訓練を続ける支えや力にもなっています。

昼も夜も消防団員は、絶えず気をつかっています。ともかく、みなさん一人一人が火の元に十分注意してください。また、近所で火事だ！と聞いたら、すぐ消火器を持ってかけつけるといった消防に対する意識もほしいと思えます。

農地法の申請は 農業委員を通して

農地の売買や贈与、農地転用などの場合、農地法第三条～五条により、農業委員会あるいは県知事の許可が必要になっています。許可を受けるときには申請書を農業委員会に提出していただくことになっていますが、農業委員会では、申請書のほかその農地の現況や双方の農業経営状況などを基に審査します。このため、申請書といっしょに農業経営状況などを記載した『申請届書』を提出していただき、また、最寄りの農業委

員が現地確認を行っています。そこで、現地確認など事務を迅

速に進めるため、農地法の申請は最寄りの農業委員を通して行ってくださるようお願いいたします。

簡易保険、郵便年金 お父さん、お母さん にが絵コンクール

—入賞者—
青木みほさん (3歳 正明方)
藤井みゆきさん (5歳 正作方)
藤井めぐみさん (小2 ♀)
※写真は一部分 (竹沢郵便局)



消防ポンプ積載車を 種芋原、虫亀に配置

7月26日に、消防ポンプ積載車2台を購入し、第1分団(種芋原)と第2分団(虫亀)に配置しました。機動力に優れ、今後の消火活動に大きな威力となります。

転作にご協力 ありがとうございました

「水田利用再編対策」も五年目となりました。六月下旬に行った今年転作した田の現地調査の結果がまとまりました。

転作配分も大変厳しい内容となっておりますが、農家のみなさんのご協力により、一〇〇%の達成率となりました。また、集団転作を推進していますが、国の基準面積は大きいため村独自で三千アールという基準を設け、七か所で実施していただきました。

しかし、作物別ではレンコンと水田養魚で六六%を占め、大豆などの特定作物は一六%と県下最低。青刈稲の三分の一以上が飼料



小松倉では、小川信雄さんら3人で集団転作を行い、74アールの田に飼料作物を植えました。

達成率は
110%

として活用されず捨てられています。作物を植えたまま数年も放置され、荒れてしまった田も見受けられました。また、販路が確立さ

地区	目面	標積	実農家	実面積	作物の内訳			達成率
					特	永年性	その他	
種芋原	885	131	946	86	11	849	106	
虫亀	344	69	349	28	—	321	101	
南平	233	35	288	52	—	236	123	
竹沢	300	74	295	88	—	207	98	
東竹沢	278	48	376	112	—	264	135	
計	2,040	357	2,254	366	11	1,877	110	

金、八月月中旬に転作奨励補助金概算払いをする予定です。なお、残っています。難しい課題を残しています。

▲スキースポーツ少年団 発足

種芋原のバドミントンのスポーツ少年団に続いて、竹沢を中心に『スキースポーツ少年団』が7月18日発足しました。竹沢、虫亀、東竹沢から20人の小学生が集まり、佐藤浩明さんら6人の指導で、毎週日曜日に活動します。夏場は竹沢小学校で、体力づくりやスキー知識の学習。冬になってから、二丁野焼山スキー場で、スキーの基本技術からみっちりやるということです。



▲婦人バレーボール大会 竹沢チーム3年連続優勝

6月27日に行われた婦人バレーボール大会で、竹沢チームが3年連続優勝を遂げました。2位は種芋原チーム、3位は虫亀チーム。優勝した竹沢チーム監督、佐藤浩明さんは、「ふだんの練習はもちろんです、それを支えてくれた家族の協力と励ましのおかげです」と。

▶教育長杯野球

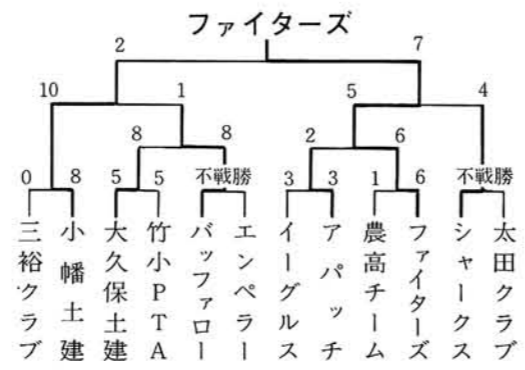
決勝12回熱戦の末 ファイターズ優勝



七月十八日早朝から、十チームが参加し、教育長杯争奪野球トー

ナメント戦が行われました。

決勝では、ファイターズと初出場の小幡土建チームが対戦。二対二で延長戦に入り、延長十二回、二時間半の大熱戦の末、ファイターズ(畔上義則監督)が七対二で優勝しました。



ことし成人式 — 「性格がにぎやかに なったみたい」

小松倉の 松崎里美さん



「二十歳になってどうですか。もう二十歳を一つ過ぎてしまっているんですが、あまり年を気にしないできたから特に感じなかったですね。ただ、昔はわりと無口だったのが、だんだん性格が変わってにぎやかになったみたい」

家ではよく音楽を聞いているという里美さん。「旅行もしたいんですけど、一人じゃどこも...」

ことし成人式を迎えた松崎里美さん(21歳)をおじやまごまごす。世帯主はトミ江さん。里美さんは、学校を卒業してから今春までずっと、お母さんといっしょに家で、細織物の仕事をしています。今春からは小千谷のハタ屋へ通っていますが、農繁期や冬期間は、また家で仕事をするといいます。

「家の都合で外へ出れなかったんですが、前は外で働きたいと思っていましたね。同じ年頃のコが全然いなくて、やっぱり友だちがほしんどずっと思っていました」

「静かでのんびりしていて自分の性に合っている」と。

成人式のご案内

期日 8月14日(土)
会場 役場 議場

式典の後、弥彦神社参拝
該当者—昭和36年4月2日～
37年4月1日生まれの人

若人交歓会

今年は青年団の手で

若者の交流の場『若人交歓会』も第4回となりました。

今年、連合青年団の手で開かれます。村の青年、帰郷している青年など、旧友を深め、また新しい出会いを求めながら、楽しい1日を過ごしてください。

多数の参加をお願いします。

期日 8月16日(月)
(9時30分～午後3時)

会場 山古志中学校

対象—村内の青年および帰郷者、その他友達などをさそっておいでください。

内容—スポーツを主とした交歓会、懇談会、その他

主催—村連合青年団(五十嵐良一会長)

その他—軽くスポーツができる程度の服装でご参加ください。



写真クラブに入りませんか



結婚相談員



結婚相談員が次の方々々に代わりました。お気軽にご相談ください。

- 坂牧 銀作(種彦原) ☎2949
- 樺沢伊三治(〃) ☎3252
- 長島辰太郎(虫 亀) ☎2358
- 長島 泰一(〃) ☎2383
- 星野仲次郎(二丁野) ☎2107
- 高野万寿雄(間内平) ☎2135
- 斎藤 利行池(谷) ☎2632
- 青木キヨシ(〃) ☎2635
- 川上 正吾(梶 金) ☎2559
- 小川 実(小松倉) ☎2521

▽会場—民族資料館会議室
▽講師—長岡市 田中範男、他(事務局 役場 高橋武俊)



子どもの家庭教育を考える(8)

母の涙

私が小学校四年生の時、昭和三十年の話です。

当時、K会社から売り出されている十円のキャラメルがありました。その中にカードが一枚入っていて、カードを何枚か集めて会社に送ると、何か景品を送ってくれ

るといしくみになっていました。私は、その景品がほしくて、なんとかカードをたくさん集めたいと夢中でした。友だちからもらったり、たまにもらえる自分の小遣いは全部Kキャラメルにそそぎました。そんなにしても、景品をもらえるだけのカード(何枚かは忘れま)はなかなか集まりません。

ある日、家中がうるすの時、そっと母のガマ口をのぞいてみました。五百円札が入っていました。子どもだったのです。これを使ってもわからないだろう」と思い、持ち出してしまったのです。めぐすキャラメルを買いに、駄菓子屋へとんで行きました。当時の五百円は相当の額です。心の片すみでは悪いことをしたぞと思いつつ、大金持ちになった気分でした。そのキャラメルを食べながら、小学校のグラウンドで野球をして遊んでいました。

夕方近くでした。母がグラウンドに来て私を呼ぶのです。こわい顔でした。「しまった、わかった

「わかってしまった」
内心でそう思いながら、私はう



つむいたまま。しかし母は何も言いません。恐る恐る顔を上げて母を見ると、母の目からは涙があふ

れていたのです。その涙を見たとき、私は急に悲しくなりました。「かんべん、かんべん」くり返しながら泣き出したことを覚えています。

母のしかり方を今思い出してみると、言葉よりも、涙ながらに示されたことが忘れられません。また、適時性というか、見つけられて、すぐしかられたことがよかったのだと思います。それ以来、人の物には一切手を出さなくなったことを、誓って言い切ることができました。(教委社教主事 福原)

家庭教育講座

子どもの非行



非行の低年齢化が大きな社会問題となっています。

なかでも、家庭内での子どもへの接し方、理解のし方などが論じられています。親として、どうすればよいか、みなさんいっしょに考えてみましょう。

▽会場—山古志中学校理科室
▽対象者—小学五、六年生および中学生、高校生の保護者

▽内容—映画「十代の非行と親の責任」話し合い
司会—社教主事
助言者—山古志中学校長、教頭

▽日時—8月31日(火)
午後8時～9時30分